



スピリット 常中魂

平成27年12月7日 NO・85

〒311-1114 水戸市塩崎町1016
TEL029-269-2116 FAX029-269-3160
Mail tunezumi-j@magokoro.ed.jp

【ホームページで、カラー版が見られます】

知的な学びと、認め合いの場がある「3年生の学習風景」



三年生の社会科の授業(公民)におじゃました。三年生たちの学習風景からは、友を認め合う、穏やかな人間関係が感じられる。本時の学習課題は、「ハンバーガーショップを出す(出店する)」としたら、どこがよいでしょう。」というものだった。

黒板には、ある町の絵地図が掲示されていた。絵地図中には①から⑤の候補地が示されている。生徒たちは、小さいサイズの絵地図をもち、それを見ながら、自分だったらどこに出店するか、またその理由は何かを考える、という授業である。個々が、出店場所と、出店理由を考え、班で意見交換をした。そして、その後クラス全体で発表し合っていた。

頭をフル回転させていることが分かる知的な顔、そして互いの意見を聴きあひながら浮かぶ笑顔。三年生たちのもつ雰囲気はすばらしい。そして、発表力のある生徒が多いことに、うれしくもあり、感動もした。

「知的な学びと、認め合いの場がある」

「②は商店街だよね。この場所にはデメリットはないのかな」と高星先生が発問する。

生徒たちは、口々につぶやきました。一人の生徒が手を挙げ、「土地が狭くて、駐車場がつかれません。」と答えた。その生徒の発言を聴き、多くの生徒たちが、口々に「そうだ、そうだ。」とか、「駐車場がない、ない」とつぶやく。一通り、つぶやいた後、教室に一瞬の静寂。その瞬間、ある女子生徒がこういった。「○○くん、商店街を使うのはだれだと思っ？」

教室中が「えー」というような雰囲気になり包まれる。だれかが「近くのおばちゃんだ」と答える。

「・・・、あっそっか。(駐車場は少なくて良いかも)」と、先ほどの男子生徒がつぶやく。

・発言力の一つに、「視点の転換を図る力」がある。別の見方があることを全体に示すことができる力だ。「そうだ、そうだ。」と全体が納得しかかった時に、別の見方を示した彼女の発言力はすばらしかった。

さらに、
・発言力の一つに、「相手意識をもって発言する力」がある。この女子生徒は、黒板に向かって発表

しているのではない。教師に向かって、でもない。しっかりと友達に向かって言葉を発している。このように友に対して自分の考えを発表できるといえるのは、教室に穏やかな人間関係ができあがっていないと難しい。このクラスには、それができる雰囲気があるというところになる。

こんな場面もあった。ある女子生徒が「①番なんですけど、例えば水戸駅のお店も、お金が高くて、すぐ撤退、撤退となってしまつて、お店が無くなってしまつてということがありますよね。だからこの場所は良くないと思っんです。」と発言した。すると、周りが「おー、すごい！」と口々につぶやき、拍手をした。

この女子生徒も発言力が高い。

・発言力の一つに、「自分の過去の学びや経験と結びつけて発表する力」がある。水戸駅のお店の事例と結びつけて発表していることに頼もしさを感じた。さらに、周りの友達も、口々に「すごい」とつぶやいた。「すごい」とつぶやける生徒たちもまた、すごい。

発言力は、聴き方ができていないと育たない。このクラスは、聴く力が育っている。その他にもたくさんあるのだが、紙面がきた。このような三年生の授業を、下級生たちにも参観させたいものだ。入学当初は、人間関係の悩みも多々あった学年だと聞く。しかし、三年間の積み上げで、このようなすばらしい人間関係を創り上げた。下級生は、そんな三年生たちを見て、さらに常中に誇りを感じることをだろう。